

シラチャ校だより

泰日協会学校
シラチャ校

2022. 4. 22



Basic First ～基本を大切に～

泰日協会学校シラチャ校 校長 酒井憲一

今年度は、56名の小学部新1年生が入学し、92名の子どもたちが初めて本校の門をくぐることになりました。ようこそ、泰日協会学校シラチャ校（シラチャ日本人学校）へ！これにより、総勢375名の子どもたちがシラチャ校に集うこととなりました。また、13名の教員が新たに加わり、タイ人スタッフを含め総勢54名の教職員の体制が整いました。教職員一同、子どもたちのために精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、今年度は3年ぶりに通常登校による教育活動がスタートし、始業式や入学式を無事に行えることとなりました。在宅学習期間が年間の約半分ほどを占めた昨年度までの2年間とはちがい、本年度は1年間通常登校できる見通しとなりましたので、「学校に通う」という当たり前のことを大切にし、充実した毎日を過ごすことを望みます。

そこで、今年度のスローガンを「Basic First ～基本を大切に～」と決めました。教育には「不易の部分」と「流行の部分」がありますが、「流行の部分」はその時代に合った教育で、今でいえばICT活用やグローバル人材育成を目指した英語教育であります。本校はすでに一人1台の端末（Chromebook）を子どもたちに貸与し、英語教育も小学部1年生から英会話を実施していることから、「流行の部分」は充実していると考えます。

一方で、「不易の部分」は昔から変わらず今後も続けていくべき教育であります。「読み・書き・そろばん」に代表されるような学習の基礎の習得であり、発言をして意見の交流を図り考えを深めることや、集団活動による社会性や道徳性を養うことなどが挙げられます。つまり、「不易の部分」はある意味「基礎・基本」であり、これからの時代を生き抜く子どもたちに身につけさせなければならないものであります。これら不易の教育は、学校という空間における教師と子どもや、子ども同士の中で営まれます。通常登校できる今年度だからこそ「不易の部分」をより一層大切にしたいと考えますので、基礎・基本の習得のために、今年度のスローガンを「Basic First ～基本を大切に～」と掲げました。右に基礎・基本を習得する内容例を示しましたが、ご家庭でもお子さんの様子を見ていただき、学校と家庭が連携して基礎・基本の習得に努めていきたいと考えます。今年度も教育活動へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

【学習の基本例】

- 文字を正しく丁寧に書ける
- 九九やわり算、ひっ算などの基本的な計算ができる
- 都道府県名や県庁所在地がわかる
- 化学の元素記号を覚えている
- 英単語を正確に書ける
- リコーダーの基本的な運指ができる
- 絵具やハサミなどの道具の基本的な使い方ができる
- 準備運動を正確に行い、基本技能を習得している
- 技術家庭における安全な道具の使い方ができる
- チャイムが鳴る前に着席している
- 手を伸ばして挙手し、はっきりと意見が言える
- 宿題（課題）や提出物を忘れずに出す

【生活の基本例】

- 時間割表を見て学習用具を準備し、忘れ物をしない
- 早寝早起き朝ご飯を心がけ、規則正しい生活をする
- 気持ちのよいあいさつができる
- そうじに黙々と取り組む